

＝そのほかの新刊＝

●ジョン・マン望郷編（山本一力）
●死の淵を見た男・吉田昌郎と福島
第一原発の五〇〇日（門田隆将）●
夢を売る男（百田尚樹）●もらい泣
き（沖方丁）●無名の虎（仁志耕一郎）
●笑うハーレキン（道尾秀介）●ラ
イアの祈り（森沢明夫）●片桐酒店
の副業（徳永圭）●先生のお庭番（朝
井かまて）●天狗照る（秋山香乃）●
恋しのぶ（鳥羽亮）●工学部ヒラノ
教授の事件ファイル（今野浩）●た
えば、すぐりとおれの恋（はらだ
みずき）●きんこん土佐日記8（村
岡マサヒロ）●好きになる生物学（吉
田邦久）●人にやさしい介護技術（野
村敬子）●脳はバカ、腸はかしこい
（藤田紘一郎）●はじめての花づくり
（室谷優二）●ここから生まれた故事
成語（堀江忠道）
【児童】●山のとしょかん（肥田美
代子）●イワーシェチカと白い鳥（イ
リーナ・カルナウーホワ）●ふたつ
の月の物語（富安陽子）●天才ジョ
ニーの秘密（エレナー・アップデー



＝新刊図書案内＝ 今月の一冊

『ことり』
【小川洋子著】

「小鳥の小父さん」と呼ばれた人が、ある日ひっそり亡くなります。
遺体を発見したのは、新聞の集金人でした。遺体は、両足を軽く曲げ、背中を丸め、両腕には竹製の鳥籠を抱いていました。
名もない人の死。しかしそこには、何年もの時をこつこつと刻んだ人生がありました。
静かで温かな生活、つつしみ深い生き方が、心に響く一冊です。
芥川賞作家でもある小川洋子さんの、12年ぶりの長編小説です。

☎42・2141 月曜日・祝日 休館

市民文化会館 イベントガイド

TEL.43・2911

『阪急電車』の有川浩が贈る、
優しい愛の物語。

『県庁おもてなし課』



5月19日(日)

上映時間 ①10:00 ②14:00 ③18:30

市民文化会館大ホール

【入場料】

- 一般1,300円(当日1,800円)
- 大学・専門学校生1,300円(当日1,500円)
- 高校生以下800円(当日1,000円)
- シニア(60歳以上)1,000円(当日1,000円)
- 夫婦ペア割引(どちらかが50歳以上)
2,000円(当日2,000円)

「憂歌団」のフロントマン2人による、
活動休止後初の四国公演。

木村充揮& 内田勘太郎



2013年6月15日(土)

開場18:00 開演18:30

市民文化会館大会議室

全席自由：前売5,000円(当日5,500円)

世界的ピアニスト仲道郁代のショパン楽曲と
演劇とのコラボレーションプログラム。

『宝くじ文化公演』 仲道郁代×内藤裕敬共同企画 窓の彼方へ



2013年7月13日(土)

開場13:30 開演14:00

市民文化会館大ホール
【全席自由】

一般……………2,000円(当日2,500円)
高校生以下…1,000円(当日1,500円)

宝くじの助成により、特別料金となっています。